

【高等学校用】

様式1(高等学校)

令和2年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校 定時制
1 前年度 評価結果の概要	・どの評価項目も概ね達成できたと考える。 ・希望進路の実現では、進路指導と担任や保護者の協力で生徒の状況に応じた支援と指導ができ、その結果、成果が表れたと考えられる。 ・授業や行事の集合時間に遅れる生徒はほとんどいなくなった。また、今後も行事前の指導を継続して行うことは必要であると考ええる。 ・いじめ問題への教職員全体での共通理解を図ることはできた。また、次年度も研修を行い、いじめ防止に取り組む。
2 学校教育目標	働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ち、社会に貢献できる人材を育成する。
3 本年度の重点目標	① 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読み解く力を育成する。 ② 進路指導の充実を図り、希望進路の実現を目指す。 ③ 健康管理とスポーツの振興を図る。

4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○基礎学力の向上を目指した活動の実施	○計算力アップトレーニング(以下ケアトレ)の積み重ねにより基礎学力の向上を実感した生徒80%以上を目指す。	・定期的にケアトレを行い、学習の積み重ねによる達成感をもたせる。 ・基礎学力の定着を実感させる。
	○資格取得	○資格取得に積極的に取り組み、検定合格70%、国家資格取得50%以上を目指す。	・資格取得に主体的に取り組ませ、進路選択に、役立たせる。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権・同和教育や情報モラル教育等を通して、基本的人権を尊重できる生徒100%を達成する。	・情報モラル教育に係る講話を行う。 ・人権・同和教育に係る講話を行う。 ・生徒個人面談を定期的に行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの早期発見と防止に向けて取り組み、いじめ発生件数0を目指す。	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に行う。 ・定期的に学校生活アンケートを実施して早期発見につとめる。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○佐賀県の良さに理解を深めることができた生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語り」を使用して、佐賀県の偉人、歴史、自然、今について学ぶ。 ・佐賀県について、興味を持ったことを学習用PC等を活用し、調べ学習を行い、理解を深める。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●健康に食は大切であるとする生徒100%を達成する。	・「保健だより」発行 ・講演会や生徒個人面談等を通して、健康に関する意識を高める。 ・給食指導(手洗い及び給食マナー)の徹底を図る。
	○運動習慣の改善や定着化	○基礎体力と持久力の向上のために、授業において体づくり運動等を90%以上実施する。	・体育の冒頭において、時間を設定してランニング、縄跳び、ダブルダッチ等を実施する。 ・部活動を通して、生涯スポーツの基礎を身につける。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・学校閉庁日の設定 ・勤務時間を意識した業務の能率化を図るように声かけを行う。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○希望進路の実現	○4年次の進路指導を学科、学年、教科と連携し、見える化した形で従来よりも早期に着手する。 ○生徒の実情に即した「進路のしおり」を作成し、学科、学年、教科と連携した計画的な指導を実施する。	○4年生の自己理解とキャリアイメージを確認し、第1希望の実現80%以上を目指す。 ○「進路のしおり」を新規作成・導入し、1年次からキャリア教育を実施し、進路意識が向上した生徒80%以上を目指す。	・担任面談、進路指導部面談等を密に実施し、キャリアイメージの深まりや希望進路の実現のための取り組みについて確認・助言する。 ・各学年毎の取り組みを明確化した進路指導計画を作成、実施し、年度途中及び年度末に確認、評価、修正等を行う。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育